

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

チェールアルコの家

グループの名称

チェールアルコの家研究会

直近採択グループ番号

06-0125-0050

(グループ代表者)

代表者名

照井 正樹

代表者印

代表者所属先

藤正建設株式会社

代表者所在地

岩手県花巻市桜木町2丁目164番地

代表者電話番号

0198-24-5115

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社嶋勘商店

事務局担当者名

菅原 潤

印

事務局郵便番号

025-0094

事務局所在地

岩手県花巻市桜木町2丁目10番地1

事務局電話番号

0198-23-3131

事務局FAX

0198-23-3135

事務局担当者E-mail

shimakan@bridge.ocn.ne.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	チェールアルコの家
2. グループの名称(必須)	チェールアルコの家研究会
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0125-0050
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	岩手県全域
5. 結成年(必須)	1988 年
6. グループ代表者名(必須)	照井 正樹
7. グループ代表者の所属先(必須)	藤正建設株式会社
8. グループ代表者所在地(必須)	岩手県花巻市桜木町2丁目164番地
9. グループ代表者電話番号(必須)	0198-24-5115
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社嶋勘商店
11. グループ事務局担当者名(必須)	菅原 潤
12. グループ事務局郵便番号(必須)	025-0094
13. グループ事務局所在地(必須)	岩手県花巻市桜木町2丁目10番地1
14. グループ事務局電話番号(必須)	0198-23-3131
15. グループ事務局FAX番号(必須)	0198-23-3135
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	shimakan@bridge.ocn.ne.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	6	
II. 製材・集成材製造・合板製造	12	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	8	
IV. プレカット	2	
V. 設計	10	
VI. 施工	13	
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外	
			番号記入欄			
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> FIPIC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明			※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木村製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成16年2月)」に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木村製品(合法伐採木材等証明)			
		国産材	3	国内		
		外材	3	国外		
		国産材	2	国内		
		外材	2	国外		
		国産材	2	国内		
		国産材	2	国内		
		外材	2	国外		
		国産材	2	国内		
		国産材	4	国内		
		外材	4	国外		
	唐松・杉	岩手県	岩手県産材証明制度	1	国内	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		5	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		2	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		9棟				
					1100㎡				
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		2棟				
					250㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	交付申請先着順により優先配分します								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	4	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	2	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) チェールアルコの家	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県全域
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) チェールアルコの家研究会	(結成年) 1988年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0125-0050	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	○東日本大震災復興住宅再建が大分進みました、東日本大震災の教訓を生かした新築住宅を供給するため大地震に耐える耐震性と、高齢者にも優しいヒートショックにも考慮した断熱性能を保持する	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	○岩手地域積雪対策として通し柱120×120を使用し耐力面材の活用を推奨する ○寒冷対策として断熱性能等級4を目標とする	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	○県内全域豪雪地帯の為、屋根形状は大屋根を推奨する、施主様が和風造りを希望する場合は、そのかぎりではない ○耐震・雪害の観点から屋根葺き材は金属屋根を推奨する	◎
④①～③の背景	○岩手県内東日本大震災そして幾度の震災に遭遇し、尊い命が失われている ○岩手県内全域豪雪地帯に指定されています、特に岩手県西部・八幡平市(一部地域を除く)西和賀町は特別豪雪地帯に指定されている	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○被災地に対象住宅を建設した場合、①～③を重視した内覧会を開催する	○

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○在来工法については、土台・柱・桁・梁主要構造材については寸法105×105以上、母屋材については90×90以上、通し柱に付いては寸法120×120以上を使用する ○野垂木の寸法45×55以上(特別豪雪地帯は45×90以上を使用する)	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○床板フローアについては、商品を限定し大量仕入れを実施し価格を安定させている	○
①-3 標準仕様の設定	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○在来工法・枠組み壁工法共標準仕様を設定し価格の安定を図る	○
②-1 建材・資材調達のコスト削減	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○注文材以外はまとめ買いを実施しコストを下げることに努力しております	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○木材・建材仕入発注作業は役割を決め事務の流れを円滑にするよう努めています	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○事務局と建材流通が提携できるよう検討委員会の設置を検討する	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ○情報共有の為施工に際しては各構成員と合理化に向けヒアリングを実施 ○実施については事務局も協力する	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○各メーカー等の省エネ講習会に参加させ ○省エネルギー技術講習会施工テキストによる内容に基づく	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ○地盤調査に基づいた設計・施工	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○施主様へのお見積り提出は一種類ではなく複数の見積もりを作成、選択肢の輪を広げる	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○工務店と協力し内覧会を開催、GRN化事業が一般ユーザーも気軽に参加し理解出来る内容にする	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ○試験的に現場状況を確認し週休2日制実施、数年以内には完全週休2日制への移行を推奨する	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ○日雇いではなく月給制で雇用、技能・経験にふさわしい手当の支給を検討する	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○月給制の雇用を推奨、社会保険への加入を将来に向け段階的に加入を促進	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○グループ事務局では工務店へ、安全委員会設置及び安全意識の向上を働きかける	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○地域材使用に関しては構造材・羽柄材に関わらず岩手県産材をなるべく多く使用する	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) チェールアルコの家	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県全域		
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) チェールアルコの家研究会	(結成年) 1988 年		
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0125-0050			
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。				
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備				
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 住宅履歴情報の整備	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ○工務店独自の履歴が難しい場合、住宅履歴サービス機関を活用する	○	
		①-2 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○建材取引メーカー(住宅履歴図書館)に保存蓄積する	○	
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ○登録時に発行される登録証で確認する	○	
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ○グループ共通の点検チェックリストを作成、内容は施主様にも分り易いものとする	○	
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○大規模な自然災害の時には緊急点検を実施、必要に応じて補修する	○	
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○維持保全チェックリストを管理者が確認保管	○	
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○グループ採択報告会の中で、講師を招き近未来必要とされるゼロ・エネ住宅勉強会を開催	○	
		③-2 DIY体験会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ○グループ完成内覧会のイベントとして開催、具体的には施工業者と相談	○	
		③-3 その他の相談会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ○完成内覧会の中で一般のお客様向けの相談会を実施、ZEHなど基本的な相談	○	
	④ 維持管理委員会等の設置 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ○委員会設置に際しては構成員さんと相談して決めます	◎		
	⑤ その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ○瑕疵保険以外に保険会社が提携する延長保険サービスを提案する	○		
	b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ○倒産・廃業による施工・維持管理ができない場合は、グループ構成員で話し合い協力してくれる施工業者を紹介する	◎	
		② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ○瑕疵保険会社に講師の派遣を依頼する	○	
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		○今後ストック型社会に対応するため、住宅履歴の蓄積管理を見直し、エンドユーザーとの将来における関係造りに取り組む	○
	エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○長期優良住宅経験者がいる構成員には、未経験者と現場を共にし技能の習得に協力する	◎		
	②-1 品質管理のための共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ○流通事業者が中心となり品質管理表の作成に事務局が協力する	○		
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ○事務局でチェックリストを作成し定期的に管理する	○		
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○実績が乏しい為、総合的な計画立案が難しい	○		
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ○長期優良住宅経験者は、グループ内で未経験工務店現場に配置し技術習得に努める	○		
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ○設計構成員は、外皮計算・一次エネルギー計算等習得、施工構成員を支援する	○		
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 14 今年度の参加目標人数 2	○	
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 10 今年度の参加目標人数 2		○		
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○担当営業・事務局が協力内容を把握し構成員に情報提供する		◎		
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○省エネ機器・新技術等の情報はメーカーを招き講習会を開く	○		
	② 新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ○グループで1件でも多く実績を造る為、今の所新技術の開発はしていません	○		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		○長期優良・低炭素・ゼロ・エネ住宅等性能審査及び手続について、慣れない事業者は、事務局・第三者サポートセンターが協力、スムーズな申請手続き、性能評価機関へ適合証発行の応援をする	◎	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) チュールアルコの家	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県全域												
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) チュールアルコの家研究会	(結成年) 1988年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0125-0050													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成30年度対応方針】														
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	○在来工法は主要構造部(土台・柱・桁・梁)の過半に地域材を活用、さらに岩手県産材の使用を積極的に行う ○羽柄材については①岩手県産材(50%以上目標)②合法木材(国・内外) ○枠組み壁工法は①合法木材(国・内外)②岩手県産材												
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上												
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	<p>○地域材供給の流れ</p> <p>①国外から原木、製材品を調達するなど、一部のI.原木供給II.製材事業者を特定できない(グループ構成員として記載できない場合があります)</p> <p>②VI.施工業者、グループの構成員に於いては全て手刻みによる現場組を行うため</p> <p>IV.プレカットを介さずIII.流通グループから調達する場合があります</p> <p>海外 → 手刻</p>												
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工構成員より早期に物件の情報を収集共有し、供給事業者と協力を要請する												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が情報収集に努め、グループ内で共有する												
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 原木・製材・建材(木材)・プレカット各事業者と事務局が供給情報を共有する												
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算)6枚												
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数: 0坪(本件では雪害が予想される)												
	①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算)0枚												
	①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算)2枚												
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ①-2県内伝統素材和瓦が継承されていますが、寒冷地・雪国には適さない為使用しません												
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域材(杉材)による外装材に下見板(鍍張り)表面化粧材として消費者へ提案する												
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 県内豪雪地帯の為地域の気候を考慮、西和賀地方伝統の大屋根形状を参考にする												
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今後の少子高齢化、地方の過疎化に向け高齢者にも優しい、ヒートショック対策にも期待できる高断熱住宅提案												
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 旧城下町商屋建築伝統の町屋造りと現代を調和させ、シンプルなデザインを推奨する												
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域材(杉材)内装に羽目板張り、表面化粧材として消費者へ提案する												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○各施工構成員の受注が多くなり、自社での施工が出来なくなった場合は、グループ内で応援体制をとり安定した住宅供給に努める												
カ. その他														
【平成30年度対応方針】														
	東日本大震災の復興に資する取組	○県沿岸の構成員に呼びかけ新規施工構成員を発掘、住宅再建を通して地域経済に寄与し、完全復興に協力する												
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	○東日本大震災発生の際は各方面から応援物資・義捐金などが寄せられました。資材・職人さんの応援依頼があった場合グループとして協力する ○今後予想される南海地震など有事の際グループとして復興への協力をする												

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) チェールアルコの家	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県全域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) チェールアルコの家研究会	(結成年) 1988年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0125-0050	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

○認定低炭素住宅

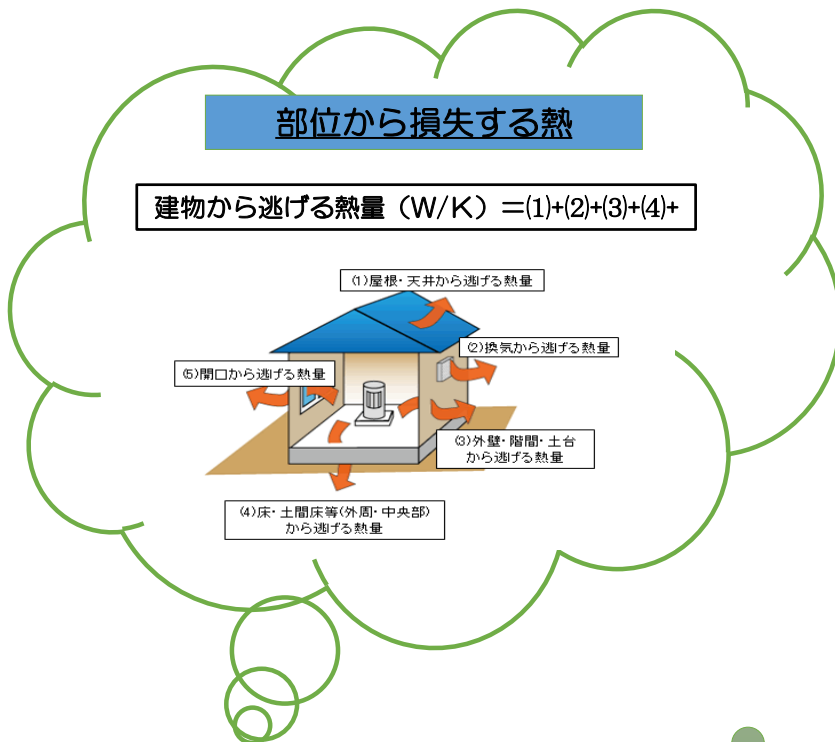
1. サッシはLowE以上の性能を有する製品を使用する
2. 床断熱材はフェノールフォームを推奨する
3. 給湯設備は、エコジョーズ・エコフィール・エコ給湯の何れかを採用する

○性能向上計画認定住宅

1. 認定基準に基づき断熱性能を向上させる
2. 以上統一した仕様書を作成しそれに基づいて施工する

○ゼロ・エネ

1. ZEHの定義に基づき外皮性能を最優先として、一次エネルギーを削減し、設備機器のコスト高を抑える
2. 消費したエネルギーと同等のエネルギーを造り出す
3. 建物から逃げる熱量をなるべく小さく抑える
4. ZEHビルダー・BELS工務店を目標にする



**「チェールアルコの家研究会」は
熱が逃げにくい住んで安心
高性能住宅をご提案します！**

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。